

令和 7 年 4 月吉日

保護者様

流山市立おおたかの森小学校

校長 北野 美紀

令和7年度学校経営方針、学級編成について

日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

4月24日(木)実施の第1回学級懇談会時に、保護者の皆様へお伝えした内容をお知らせいたします。

(1) 令和 7 年度の学校経営方針について

本校の令和7年度の学校教育目標は「未来にはばたくこどもが育つ学校」です。

こども達を真ん中に置き、その周りにいる教職員と保護者の皆様・地域の皆様と一緒に、笑顔あふれる学校にしていきたいと考えております。

目指す児童像は「つよく かしこく あたたかく」としました。この言葉は、始業式に全校児童に伝えました。すると翌日以降、私の方からこども達に投げかけると、合い言葉のように「つよく かしこく あたたかく」と返してくれ、嬉しく思っています。

もう一つ全校児童に伝えたのが、「みんなちがってみんないい」です。人と比べるのではなく、自分の好きや得意を大事にして欲しい。だからこそ、自分とは違う友だちを大切に思って欲しいと伝えました。

学校は、こども達の居場所です。だからこそ、ありのままの自分を大事にして、安心して学び成長できる環境を作って参ります。また、学校はこども達にとって挑戦できる場所であり、失敗を恐れず学び続けられる場所であるべきだと考えています。学校では、一人一人の良さを伸ばしていけるように、そして、こども達の「やってみたい」や「考え学び合う場を」を大切にしながら支援して参ります。何か、ご心配なこと等ございましたら、お知らせください。

保護者の皆様におかれましては、日々こども達を元気に学校へ送り出してくださり、ありがとうございます。毎朝の旗当番のボランティアにも、たくさんの方にご協力をいただき、児童の登校を見守ってくださり感謝申し上げます。

こども達は、新しい学年、クラスになり、少し戸惑いながらも、自分の力で新しい人間関係を作ろうとしたり、新しい学習に取り組んだりしています。そんなお子さんの様子を、優しく受け止めてあげてください。そして、お子さんが頑張ろうとしたそのプロセスを、友だちに優しくしたことを、自分の思いを自分で伝えられたことを、悔しい思いを乗り越え行動したことを「頑張っているね!」と褒めてあげてください。時にはぎゅっと抱きしめてあげてください。保護者の皆様の応援が、ひと言が、こども達の次に進む大きな力になります。

(2) 今年度の学級編成について

本校は、児童数1400人を超える大きな学校であり、転出入が多く児童の人間関係は随時変化しています。また、若手教員も多くいます。小学校は、担任が多く時間を学級のこども達と過ごしていますが、こども達にそれぞれの良さがあり個性があるように、大人である教員も同様です。そのため、こどもたちの成長にとって、できるだけ多くの大人が関わりを持つことが大切だと考えております。

国の公立義務教育諸学校の学級編成に関する法律では、小学校の学級編成は35人で行うものとされていますが、その一方で、学校ごとの事情に応じて、教育的配慮の観点から、学級編成の弾力的運用の許容についても記載されています。千葉県教育委員会においても、児童へのよりきめ細かい指導、人材育成の観点から、「柔軟な学級編成」を行うことも可としています。

そこで、担任以外の教員も配置し、複数の教員で指導を行うことで、学習面及び生活面でよりきめ細かい指導が可能になること、また、支援を要する子への指導や不登校児童への対応などの生徒指導においても、担任一人で抱え込まず、児童一人一人の困り感に寄り添ったより丁寧な支援が可能になること、さらには、多くの教員が児童と関わることで、複数の相談窓口ができ、より安心感を持って学校生活を送れるようにすることを目指し、本年度、2年生と6年生で柔軟な学級編成の運用を実施いたします。

保護者の皆様におかれましては、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。